

平成26年（暦年）の秋田空港利用状況について

1. 概 要

平成26年（暦年）の秋田空港の利用者数は、1,189,657人で前年より15,893人増加し、前年比101.4%、搭乗率は59.2%であった。

国内線の利用者数は、1,171,958人で前年より23,786人増加し、前年比102.1%、搭乗率は59.4%であった。

また、国際線の利用者数は、17,699人で前年より7,893人減少し、前年比69.2%、搭乗率は51.0%であった。

2. 路線別の動向

①東京羽田線

利用者数は、826,575人で前年より6,941人増加し、前年比100.8%、搭乗率は59.8%であった。2月の首都圏での暴風雪などによる欠航があったものの、修学旅行などの団体旅行が好調であったことにより、ほぼ前年並みの結果であった。

②名古屋中部線

利用者数は、66,976人で前年より257人減少し、前年比99.6%、搭乗率は61.9%であった。旅行利用が振るわなかったものの、ビジネス利用が比較的堅調に推移したことにより、ほぼ前年並みの結果となった。

③札幌千歳線

利用者数は、103,189人で前年より4,423人増加し、前年比104.5%、搭乗率は49.2%であった。平成25年3月からの新規就航に伴う増便が利用者間に広まったことや、個人を中心とする旅行需要が順調に推移したことなどにより、前年を上回った。

④大阪伊丹線

利用者数は、175,218人で前年より12,679人増加し、前年比107.8%、搭乗率は63.9%であった。一部使用機材が小型化したものの、平成25年10月からの増便や8月限定の臨時便の運航などにより、前年を上回る伸びとなった。

⑤ソウル仁川線（国際線）

利用者数は、17,699人で前年より7,893人減少し、前年比69.2%、搭乗率は51.0%であった。日本人搭乗客は7,570人で5,714人減少し、前年比57.0%、韓国人搭乗客は8,740人で1,758人減少し、前年比83.3%となった。これは、7月下旬から10月下旬までの3か月にわたる運休によるものとみられる。

3. 貨物の動向

貨物の取扱数量は、入荷数量が1,028.7t、出荷数量が1,078.1t、合計で2,106.8tであった。入荷数量が39.6t、出荷数量が33.9t、合計で73.4tそれぞれ減少した。入荷の主な品目は、電子部品、精密機器、工業部品等で、出荷の主な品目はきりたんぼ、弁当等の食品類であった。

4. チャーター便の動向

チャーター便は、秋田ー台北間などの国際便が57便で、秋田ー広島間などの国内便が3便であった。利用者数は9,334人となり、前年より4,499人増加し、搭乗率は87.9%となった。

平成26年分（暦年） 秋田空港利用状況

1 定期便利用状況

(単位：便、人)

路線名	平成26年						平成25年						利用者数 増減	利用者数 対前年 比
	運航回数				利用者数	搭乗率	運航回数				利用者数	搭乗率		
	予定	実績	欠航数	欠航率			予定	実績	欠航数	欠航率				
東京羽田線(ANA)	3,650	3,601	49	1.3%	541,061	59.3%	3,650	3,610	40	1.1%	533,023	58.0%	8,038	101.5%
東京羽田線(JAL)	2,920	2,852	68	2.3%	285,514	60.7%	2,920	2,880	40	1.4%	286,611	60.3%	△ 1,097	99.6%
東京羽田線(計)	6,570	6,453	117	1.8%	826,575	59.8%	6,570	6,490	80	1.2%	819,634	58.8%	6,941	100.8%
名古屋中部線(ANA)	1,468	1,452	16	1.1%	66,976	61.9%	1,468	1,456	12	0.8%	67,233	62.0%	△ 257	99.6%
札幌千歳線(ANA)	1,460	1,432	28	1.9%	47,017	44.4%	1,104	1,093	11	1.0%	37,234	46.0%	9,783	126.3%
札幌千歳線(JAL)	2,074	2,030	44	2.1%	56,172	54.1%	2,166	2,098	68	3.1%	61,532	56.6%	△ 5,360	91.3%
札幌千歳線(計)	3,534	3,462	72	2.0%	103,189	49.2%	3,270	3,191	79	2.4%	98,766	52.1%	4,423	104.5%
大阪伊丹便(ANA)	2,252	2,221	31	1.4%	98,813	60.1%	1,612	1,595	17	1.1%	74,972	63.5%	23,841	131.8%
大阪伊丹便(JAL)	2,190	2,148	42	1.9%	76,405	69.7%	2,190	2,159	31	1.4%	87,567	63.1%	△ 11,162	87.3%
大阪伊丹便(計)	4,442	4,369	73	1.6%	175,218	63.9%	3,802	3,754	48	1.3%	162,539	63.3%	12,679	107.8%
国内線計	16,014	15,736	278	1.7%	1,171,958	59.4%	15,110	14,891	219	1.4%	1,148,172	58.9%	23,786	102.1%
ソウル仁川線(KAL)	232	232	0	0.0%	17,699	51.0%	312	312	0	0.0%	25,592	56.6%	△ 7,893	69.2%
全線合計	16,246	15,968	278	1.7%	1,189,657	59.2%	15,422	15,203	219	1.4%	1,173,764	58.9%	15,893	101.4%

2 貨物取扱量

(※小数点以下第二位を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。)

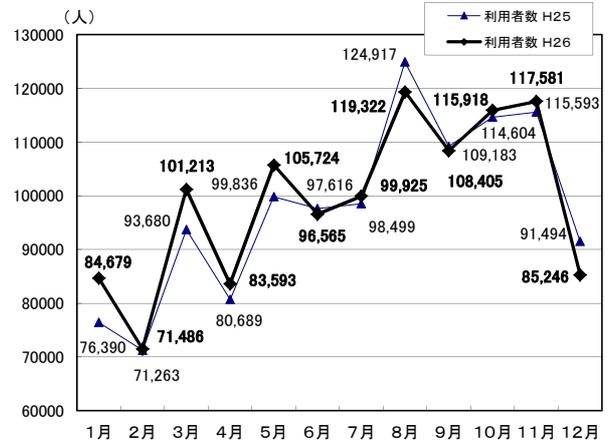
全線	平成26年	平成25年	増減
貨物入荷(t)	1,028.7	1,068.2	△ 39.6
貨物出荷(t)	1,078.1	1,112.0	△ 33.9
計(t)	2,106.8	2,180.2	△ 73.4
うち国際線(仁川)分	平成26年	平成25年	増減
貨物入荷(t)	3.0	2.1	0.9
貨物出荷(t)	0.0	0.4	△ 0.4
計(t)	3.0	2.5	0.5

3 郵便取扱量

(※小数点以下第二位を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。)

郵便取扱量	平成26年	平成25年	増減
郵便(t)	434.1	431.6	2.5

月別利用者数の推移(全路線合計)



4 チャーター便利用状況

(単位：便、人)

国内・国際別	平成26年	平成25年	便数 増減	平成26年		平成25年		利用者数 増減
	便数	便数		利用者数	搭乗率	利用者数	搭乗率	
国内便	3	—	3	143	63.0%	—	—	143
国際便	57	26	31	9,191	88.4%	4,835	84.2%	4,356
合計	60	26	34	9,334	87.9%	4,835	84.2%	4,499